

自己評価の結果集計表

平成29年度 (H30. 2月調査)

認定こども園エンゼル子どもの家

分野	保育教諭別回答	項目数	「はい」の割合(保育教諭A~I) 単位%											項目平均			
			A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	今年度	昨年	
I、保育の理念・教育・保育観		17	94	100	94	88	82	76	76	88	71	88	82	82	85	79	
II、保育の内容	① 保育計画・指導計画	12	67	92	83			8	67	83	67	92	42	42	64	71	
	② 乳児保育	15	93				100	93		60	80	100	100	100	91	90	
	③ 3歳未満児保育(1,2歳児保育)	15					87	100		93	100	100	93	93	95	86	
	④ 3歳児以上児保育	ア、基礎的事項	9		100	78	89			89						89	86
		イ、健康	12		100	92	92			83						92	83
		ウ、人間関係	9		100	78	89			78						86	86
		エ、環境	8		100	63	75			25						66	69
		オ、言葉	11		100	55	91			82						82	84
		カ、表現	10		100	70	80			80						83	78
	⑤ 特別な配慮や支援を必要とする子どもの保育	12		92	83	75			92						86	54	
⑥ 行事	10	60	100	90	80	50	60	70	80	40	100	60	60	71	72		
⑦ 延長保育・一時保育	10	80	100	80	90	80	60	100	90	80	100	80	80	85	88		
III、保健活動・安全管理		14	86	100	93	100	64	64	86	79	86	100	71	71	83	81	
IV、保護者・地域社会・関係機関との連携		17	53	100	82	41	53	47	88	59	76	76	71	71	68	65	
V、地域の子育て支援		7	71	100	100	29	57	57	86	71	43	71	43	43	64	61	
VI、保育園の職務・役割分担		11	73	100	91	18	73	64	91	82	91	91	91	91	80	76	
VII、保育教諭としての資質向上(研修・研究活動)		12	58	100	75	25	33	50	100	83	67	83	83	83	70	64	
合計(個人平均)		211	74	99	82	71	68	62	81	79	73	91	74	74	77	73	

《評価》

- ・特別な支援を要する子に関する意見や反省が多かった。今年度対象と思われる園児が数人おり、正しい指導の仕方や効果的な支援の進め方に試行錯誤する職員も多かったようだ。研修を含め支援センターや専門の機関の先生方からアドバイスをいただきながら、子ども達に寄り添っていければと誰もが前向きに願っている。
- また、特別な支援を要する子どもの保護者たちへのアプローチや理解は大切な課題とどの職員も認識するところであった。保護者支援の観点からも、どの職員も上手に、正しく保護者を導けるようさらに研鑽が不可欠と思われる。
- ・今年度はキャリアアップ研修が目白押しで多忙であったが、基本に帰る良い機会と捉え、真摯に取り組んでいた様子だった。
- ・若手の職員が環境整備について不安を抱いている評価であった。先輩たちに無理に頼らず、新たな発想と子どもの視線に立ち戻りながら自信を持って、良い方向を模索しながら保育に臨んでほしい。
- ・中堅職員はマンネリ化や教材不足を反省に挙げていたので、新年度は新鮮な発想を持ち、教材の見直しや手作り教材等含め、保育内容の充実に努めるよう期待したい。